

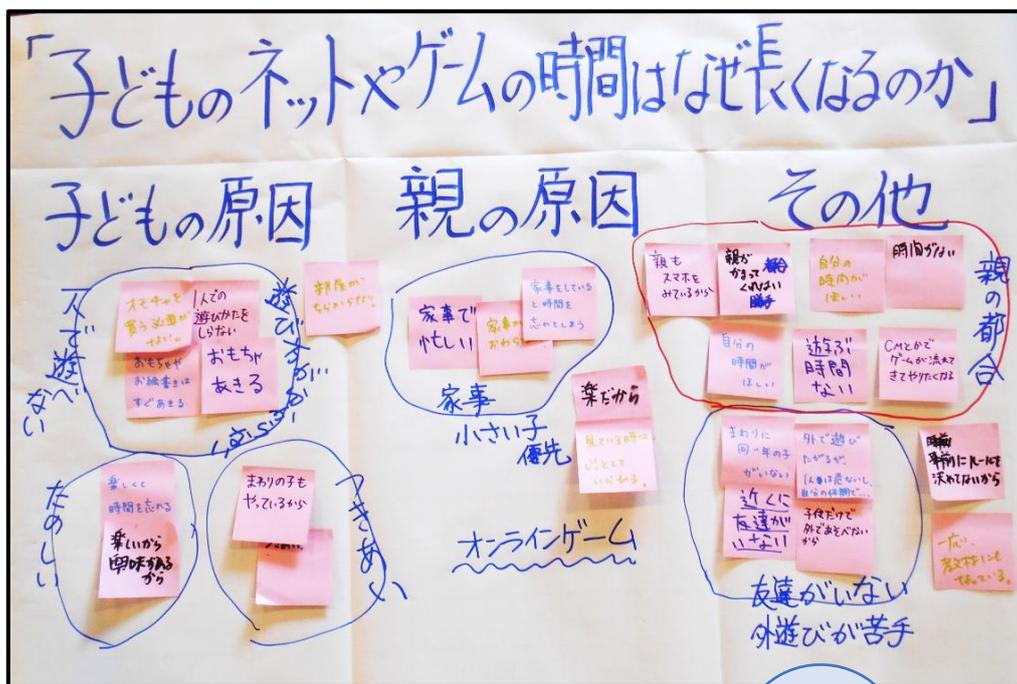
家庭教育応援NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

就学时健診での講話 ～家庭教育支援南会津の会の活動～

家庭教育支援南会津の会では、域内小学校の就学时健康診断において、家庭教育講話を実施しています。今年度は、田島小学校、田島第二小学校、松沢小学校、檜枝岐小学校において、講話の時間を設けていただきました。

講話は、保護者同士の学び合いや交流を目的に、昨年度までの講義形式ではなく、ワークショップ形式で行われました。



今回のテーマは、「子どものネットやゲームの時間はなぜ長くなるのか」でした。

一人一人が考えを付箋に書いた後、グループで共有しながら、「子どもに起因」「親に起因」「その他」で分類していきます。

保護者同士で意見を交換し合うことで、自分の家庭を振り返り、自分事として考えることができたのではないのでしょうか。

←松沢小でのワークショップの記録

<参加者の感想>

- ◇ ゲームを当たり前やらせているが、他に遊びを見つけて、今よりゲームの時間を減らしたいと思いました。もっと子供との時間をつくりたいと思います。
- ◇ ネットやゲームは悪いことばかりではないと思うきっかけとなった(時間を決めて)。親が原因となることについては改善策が必要だと思った。
- ◇ ディスカッションで他の方の考えを聞いてよかった。共感すること、新たに気付くことがあった。

家庭教育の講話や研修

子育ての悩み相談

活動誌【虹】発行

家庭教育支援南会津の会

家庭と地域がお互いに協力し合い、南会津域内の子どもたちがよりよく成長するよう、家庭教育支援を充実させることを目的に活動している団体です。

興味のある方は・・・

会長 山本 恭士

0241-62-0705 まで

「親も使っている」「一緒に遊ぶ時間がない」「家事の合間に使わせてしまう」など親に起因することだけではなく、「遊び方が分からない」など子供に起因することについても、「親の関わり次第で改善できる」という視点で発言がありました。

就学前にすでに、ネットやゲームを使っている子供(使わせている家庭)は多いようです。親としての関わりを見直していただくよい機会となりました。

